

今後50年間の経営見通しについて (下水道事業)

上下水道局

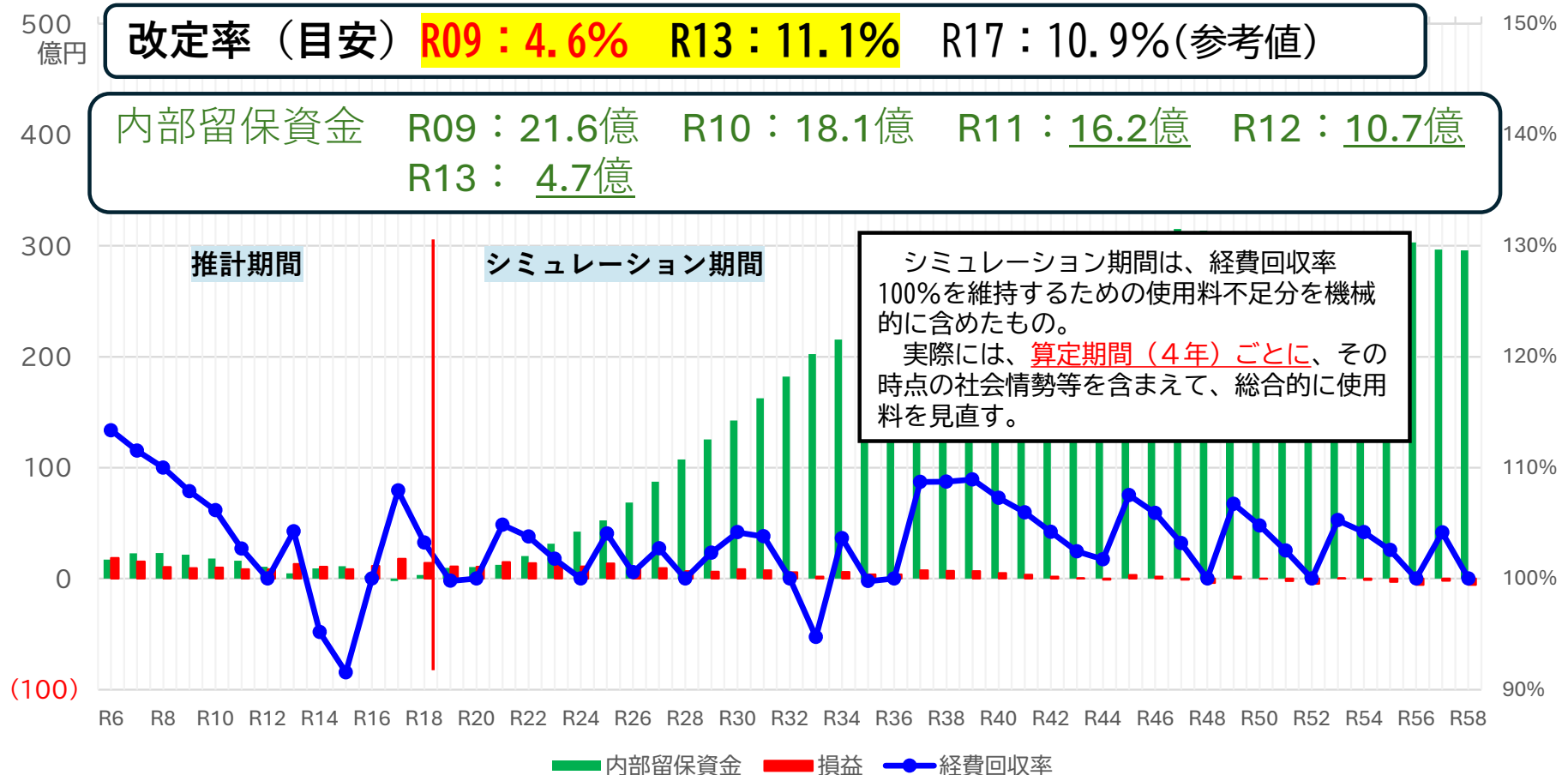
使用料改定シミュレーション (No.1)

前提条件

- 起債償還期限：10年
- 改定要素：各使用料算定期間（4年間）の最終年度の経費回収率100%を維持
（R14、15、33は解体事業費に補助金・起債を充当するため、経費回収率100%未満とする。）

結果の概要

- 評価点：経費回収率100%以上を維持する国の方針に合致
- 懸念点：使用料算定期間の内部留保資金が少なく、資金ショートの可能性あり

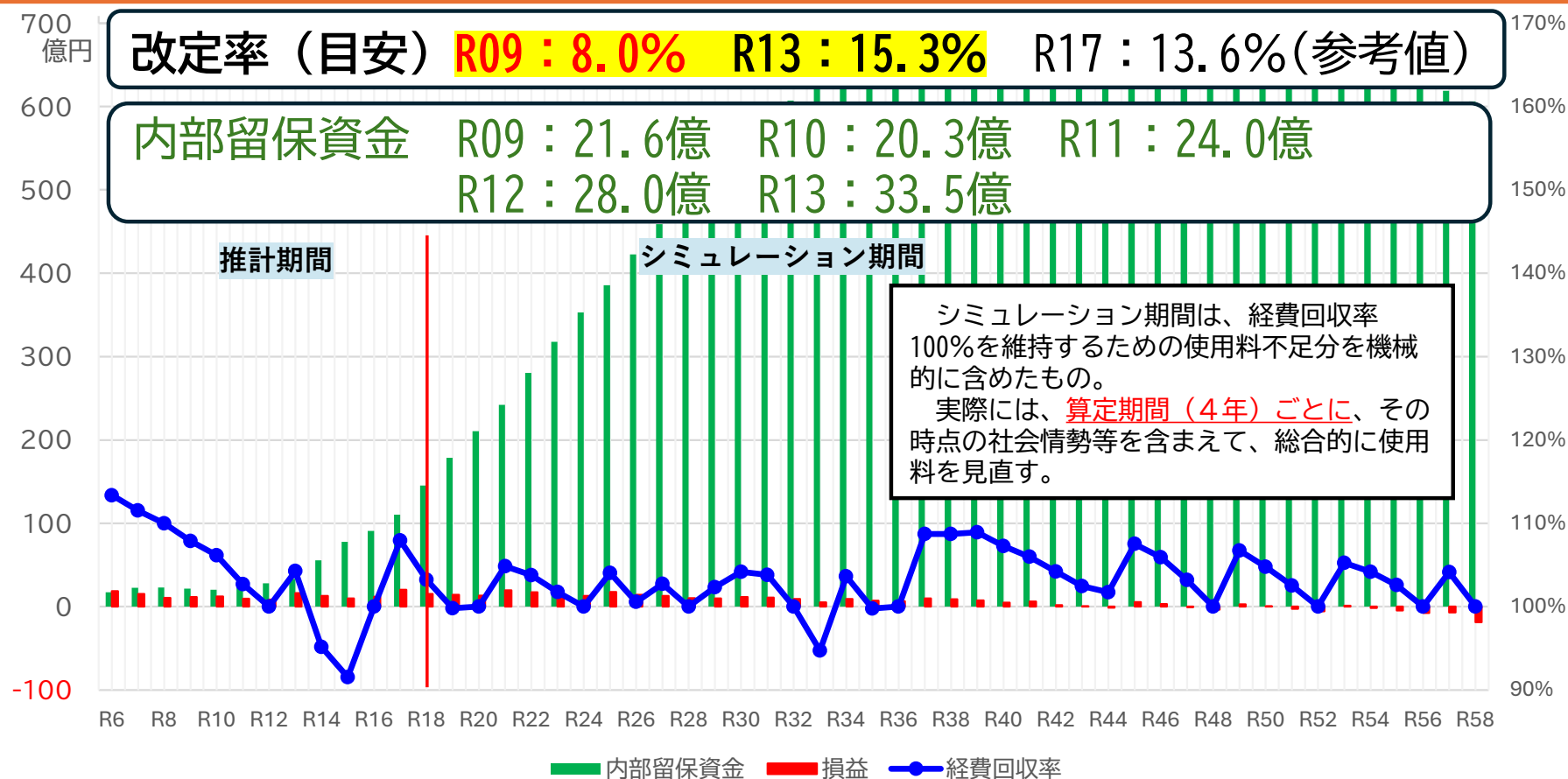


前提条件

- 起債償還期限：30年
- 改定要素：各使用料算定期間（4年間）の最終年度の経費回収率100%を維持

結果の概要

- 評価点：経費回収率100%以上を維持する国の方針に合致、
今回推計期間から内部留保資金残高も問題なし
- 懸念点：支払利息増大によるR13及びR17の改定率（見込）の高さ
令和51年度以降赤字



前提条件

- 起債償還期限：**10年**
- 改定要素：各使用料算定期間（4年間）の最終年度の経費回収率100%を維持
かつ 内部留保資金の下限（約17億円）を設定
(R14、15、33は解体事業費に補助金・起債を充当するため、経費回収率100%未満とする。)

結果の概要

- 評価点：経費回収率100%以上を維持する国の方針に合致、
今回推計期間から内部留保資金残高も問題なし

